

会 議 録

会議名 (付属機関等名)		第2回川西市行財政改革審議会	
事務局(担当課)		企画財政部行革推進課	
開催日時		令和5年6月29日(木) 16時00分から18時10分	
開催場所		市役所4階 庁議室	
出席者	委員	上村 敏之 委員、樫野 孝人 委員、足立 泰美 委員、福田 直樹 委員、東 朋子 委員、田辺 彰子 委員	
	その他		
	事務局	作田企画財政部長、飯田企画財政部副部長、富本行革推進課長、増田主査、多田主任	
傍聴の可否		可	傍聴者数 4人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第		1. 開会 2. 議事 (1)(仮称)川西市行財政運営基本方針(案)について 3. その他 4. 閉会	
会議結果		別紙審議経過のとおり	

審議経過

事務局	<p>1 開会</p> <p>2 議事</p> <p>(1) (仮称) 川西市行財政運営基本方針 (案) について</p> <p>①事務局より (仮称) 川西市行財政運営基本方針 (案) について説明</p>
事務局	<p>本日の審議会では、これまでの行財政改革の方針に対する議論をもとに作成した冊子化したものについて、議論していただきたいと考えている。</p> <p>「(資料1) (仮称) 川西市行財政運営基本方針(案)」</p> <ul style="list-style-type: none">・まず、タイトルの「(仮称) 川西市行財政運営基本方針(案)」は、いままで使っていた行革というフレーズの印象というのが、どうしても予算カットというイメージが強くなるという印象があることが課題と感じており、今回の内容は、効果的に市民サービスを行うことや、生産性を上げる取組みも重要だと記載しているため、このタイトルとした。・タイトルについて、ご議論していただきたい。 <p>・まず、1 これまでの行財政改革では、過去からの経緯を踏まえて、これからの方向性を示すという趣旨で記載した。</p> <p>・つぎに2 川西市がめざす行財政運営の姿ですが、現在検討中の第6次総合計画を実現していかなければならないことから、そのための財源を確保していくことにくわえて、社会情勢としては、様々な変化が起こっており、そのスピード感に対しても、しっかり対応できる行財政運営をしていかなければならないことから、変化の激しい時代に対応した行財政運営をめざす必要があるとしている。</p> <p>・つぎに、3 川西市の行財政運営の現状と課題では、これまで審議会に報告した川西市としての現状分析の内容を要約している。</p> <ul style="list-style-type: none">・本市の全体を取り巻く状況としましては、少子高齢化や人口減少など、他の自治体と概ね同様の現状と課題を抱えている。・ただ、市の行財政運営を取り巻く状況は、職場環境や雇用の流動化など、他自治体と同様のものもある一方で、時間外勤務の問題や、財政基金が少なく、債務残高が多いこと、ニュータウン開発時期の問題で、施設の老朽化が進んでいるといった川西市独自の現状も見えているので、それらの状況を中心に記載した。

- ・つぎに、Ⅱ行財政運営の基本的な考え方では、めざす姿と、実現のための柱となる3つの取組みを示している。
- ・つぎに、位置づけと計画期間は、資料2にあるように、行財政運営基本方針も、第6次総合計画の実現のための基本計画の一つとして位置づけられる。
- ・さらに、この方針は、行財政運営の考え方を示すものなので、各個別計画の推進に対して影響を及ぼしていくことをイメージしている。
- ・この方針の期間は8年間で、4年で中間見直しの予定
- ・つぎに、ピラミッドの一番下の実行計画ですが、これは具体的な取組みを示すもので、毎年ローリングし、最新の財政状況や、新規施策に必要となる財源の状況を検討し決定していきたいと考えている。
- ・資料1の3ページの3めざす姿を実現するための取組みですが、1つ目として、効果的なサービスを提供するために、職員の力をニーズ把握、分析などのコア業務に集中する必要があると考え、定例的な業務はアウトソーシングやデジタル化によって代替する必要があると考えている。
- ・つぎに、二つ目の行財政運営の生産性の向上では、人口が減少し、経営資源が限られる中で、同等のサービス提供ができる体制が重要となるため、デジタル技術などの新技術を活用して、新たな視点で業務や手続きを効率化していく取組みが必要であると考えている。
- ・同時に、市内部の権限委譲などで意思決定のスピード化を図るなども検討する必要があると考えている。
- ・この部分の生産性について、行政で生産性をあげるとはどういうことかを、議論していただきたい。
- ・市では、効率化することが生産性の向上に繋がると考えている。
- ・つぎにスクラップアンドビルドの仕組みですが、市民サービスを提供し続ける行財政運営のためには、新規事業の実施とともに、既存事業の見直しが必要になってくると考えており、しっかり取組んでいきたいと考えている。
- ・つぎにめざす姿の実現のための成功要因についてです。
- ・さきの3つの取組みを行うにあたって、重要と考える要素について4点記載している。
- ・ひとつは、職員の能力が最大限発揮できるということで、記載内容は現在、人事部門と調整中で、次回の審議会でご議論いただければと考えているが、現

	<p>時点では、箇条書きで示しているような内容を盛り込んでいきたいと考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つぎに2点目の新しい技術は、今後、新たな技術やサービスがどんどん登場すると考えており、それらを的確に採用して活用することが重要になると考えている。 ・つぎに市民や民間事業者などとの協働では、川西市は官民連携の実績が他市と比べても豊富な特徴があるので、この強みを行政サービスの提供に活かしていくべきと考えている。 ・つぎに、グリーンイノベーションですが、再生可能エネルギーを活用することで、エネルギー高騰などのリスクの軽減を図る視点も必要と考えている。 ・また、国の方針に足並みを合わせることで支援を受けられるのではないかと考えている。 ・ここも、ご意見をいただきたい。 ・最後に、方針に基づき取組む内容ですが、ここでは市が何をしようとしているのかがイメージできるように、少しだけ具体的に取組む内容を記載している。 <p style="text-align: center;">②質疑応答</p>
<p>会長</p>	<p>今回は審議会として記録を残しておいた方が良いと思う4点について、まずは議論していきたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 方針のタイトル「川西市行財政運営基本方針」について 2 めざす姿の方向性についての再確認 3 IIIの2「行財政運営の生産性の向上」についてのイメージの共有 4 IVの成功要因という言葉と取り上げている4つのタイトルのバランス感
<p>会長</p>	<p><1つ目 資料1の方針タイトルについて></p> <p>これまでの計画では「行財政改革」を使ってきたが、「行革」というフレーズは削減や切り捨てなどのイメージが強いことから、「川西市行財政運営基本方針」というタイトルにしているとのことだがいかがか。</p>
<p>委員</p>	<p>(質問)</p> <p>削減、切り捨てというイメージが強いというのはどこからの意見か。</p>

事務局	<p>(回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員の体感ではあるが、「行革」というと、実際やってきたことではあるが、予算削減や人員削減というイメージにつながってしまう。 ・他市との意見交換の中でも、「行財政改革」というワードのイメージがあまりよいイメージがなく、これ以上削減の視点で考えていくのは厳しい、との意見もあった。 ・今のタイトルは、阪神間の他市の計画名を参考にしながら考えた。
委員	<p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きな改革をせざるを得ない社会情勢ではあるし、内容を見ると厳しいことをやっていかないといけないことは伝わる。 ・奈良県、東京都では「財政運営」を使っており、その自治体等と同じような考えでやっていくという説明のほうが望ましいと思う。 ・人口減少やデジタル化の流れの中で、果敢に積極的な姿勢でやっていくということを名称変更の理由として書くのであればいいと思う。 ・名称変更に関しては、確かな根拠をもってほしい。
事務局	<p>(回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名称変更の考え方を整理していきたいと思う。 ・我々も積極的なイメージは持っているし、これまでのイメージを払拭したいという思いもある。 ・名は体を表すともいうので、イメージに合致する名称にしたいと考えている。
委員	<p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的な考えでかえるということであれば、いいかと思う。 ・これまでのイメージを払拭したい、職員が少しでも積極的になるように変えたいという思いは感じられる。
委員	<p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・阪神間の名称を見ると、経営と運営に大別できると思う。 ・これまでの行政では「運営」が一般的と思うが、積極的を表すのであれば、「経営」を使うのもいいと思う。
委員	<p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タイトルだけを変更するのではなく、構成にも手を加える必要があると思う。

事務局	<p>財源の確保に努めたところから始まり、いきなり必要性が出てきている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・そうではなく経営が重視されるから変えるという流れが必要ではないか。タイトルだけ変えても伝わらない。 ・財源の面も考慮するのであれば、「経営」と使った方がいいのではないか。あるいは「改善」を使うなどがいいのではないか。 <p>(回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 28 年には「行政経営室」という部署名で「経営」を使っていたことがある。現在は室制度を廃止したこともあり使用していない。 ・構成は「2川西市がめざす行財政運営の姿」を最初に持ってくるなど、検討したいと思う。
会長	<p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過去の経緯は、資料編として最後に持ってきた方がいいと思う。
委員	<p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地方公共団体の経営・財務マネジメント強化事業を筆頭に、経営に重きを置きながら、財政運営状況を改善しましょうということを総務省がやっている。 ・国でも経営が前に来て、その後に財務がきているという流れがある。 ・今の国、地方公共団体の動きを見てもいいと思う。
委員	<p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しい名称は浸透しにくい。これまで「行革」と使っていたのに、違う表現にすると「行革はしないのか」となる恐れもある。 ・あえてエッジをきかせた情報発信をするならば、「川西の行革はここが違う」や「令和版行革はコストカットだけではない」など従来の行革とは違う、というメッセージを出した方が、より刷新した情報発信になるのではないかと思う。
会長	<p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「行革」のもつイメージは、世間的にもよくないと感じている。本来は、ポジティブなイメージが込められているはずだが、受け取り側が悪い印象をもちすぎと思う。 ・「経営」と使っているところは、受け取り側を意識しているところもあると思う。 ・「行革」というワードが時代によって意味が変わっているところがあり、イメ

委員	<p>ージが異なる恐れがある表現よりは「経営」の方がいいと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの議論から、「経営」というワードを入れる方向で考えていきたいと思っている。 <p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・副題をつけることも検討してみてはどうか。
会長	<p>< 2つ目 めざす姿の方向性についての再確認 ></p> <p>めざす姿「変化の激しい時代に対応した市民サービスを提供し続ける行財政運営の実現」とあるが、再確認も含めて、めざすべき姿としての方向性はこれでよいか。</p>
委員	<p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・めざす姿の方向性を実現するための3つの取組みのうち、1. 効果的な市民サービスの提供の記載について、気になる点があります。 <p>(Ⅲ めざす姿を実現するための取組みの1. 効果的な市民サービスの提供の記載についての意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1つ目は、コア業務とノンコア業務の表現に引っかかっている。 ・ここでのニュアンスは、中心的業務若しくは重要な業務を職員がやってそれ以外は民間へアウトソーシングやデジタル化で処理するということだと受け取ったが、中心業務とそれ以外というわけ方ではなく、今の行政組織が得意な業務と不得意な業務があると思う。 ・つまり、時代が変わってきているので、従来のようなディフェンス型の行政業務だけではなく、オフェンス型の業務が求められていると思う。 ・例えば、観光や中小企業支援、産業振興といった分野は、従来の行政はあまり得意ではない、若しくは得意な人材が少ないとされていて、そこは、ノンコアではなくコア業務だが、それに強い民間に任せたり、プロ人材を呼び込むというハイブリッドをやっていくべきと思う。 ・そのようなことから、このコア、ノンコアの分け方はピンとこない。 ・デジタル技術に関しても民間の方が進んでいる。ノンコアだから民間ではなく、デジタルのコア業務を民間に、という文脈が正しいと思う。 ・2つ目は、優先順位の考え方が重要だと考えている。 ・やりたいことはたくさんあるが資源に限りがある中で、優先順位の決め方の考え方がより重要と思うが、優先順位という言葉が出てきていないのが気になる。

会長	<ul style="list-style-type: none"> ・まずは、1つ目の意見のコア業務とノンコア業務を議論したいと思う。 ・事務局からあるか。
事務局	<p>(回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市のイメージでは、企画立案がコア、単純作業がノンコアのイメージで作っていた。 ・委員の言うとおりに、現状でもコア業務にあたるが民間事業者の方が得意な部分はアウトソーシングしているものもあるが、今の表記ではそれが伝わらないので、ご意見を踏まえて修正したい。
委員	<p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門性の高い業務は行政がするより民間やデジタルに頼った方が効率的で、質の高い成果が得られると考えている。 ・行政が得意なものは残して、民間が得意なところはアウトソーシングするところを重要視して、書いてほしいと思う。
委員	<p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員の意見と市側の「専門性」の意味合いは一致しているか。 ・よくあるコア・ノンコアというのは、例えば、特定健診などの業務では、検診そのものはコア業務として看護師、医師などで行い、郵送など検診に影響を及ぼさないような作業は民間に業務委託するということがある。 ・他の委員が言ったように観光、クリエイティブ部門は民間の方が得意と思うが、行政がいうコア・ノンコアはこれにあたるのかというのが気になるので、意味が異なるなら分けて書くべきと思う。 ・また、めざす姿を実現するための取り組みの1, 2, 3の内容は、重複していると思うので、整理した方がよい。
事務局	<p>(回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員が発言したことが今の方針には書かれていないことが課題と考える。それは入れていくように検討する。 ・また、めざす姿を実現するための取り組みの1, 2, 3については、委員からの指摘のとおり、重複してしまっている。 ・この部分は、どのように分ければいいのか、審議会からも意見がほしいと考えている。

会長	<p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 番目は成果重視のサービス提供かと思う。いわゆる有効性。 ・ 2 は効率化の内容ではないか。
委員	<p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 必要な人に必要なサービスが迅速に届くなど、市が考える効果的な市民サービスとは何か、具体的に考えてほしい。 ・ それをやるときにこのようなことが重要だという流れで書かないと伝わらない。市として何が必要かを考えるべき。
委員	<p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 項目立てを見直すということで考えると、「Ⅲめざす姿を実現するための取組み」なので、取組みを実現するには何が必要かを考えると、組織戦略と人事戦略になってくると思う。 ・ 1 つめが組織的な観点、2 つめが人事的な観点、3 つめが外郭団体のようなパートナー的な観点、4 つめが資金的な観点で、民間であればそのような考え方になると思う。 ・ これが今、混ざっているのでわかりにくいと感じた。 ・ どこに書いてもらってもいいが、観点としては必要なので、どこかに入っていればいい。
事務局	<p>(回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 委員がいう人事戦略は、その次にある「Ⅳめざす姿の実現のための成功要因」に職員の能力向上など人材開発を解決手段として整理したいと考えている。 ・ 行政として効率性は今までも考えてきた経緯があるが、「生産性の向上」は行政として考えるのが慣れていない部分である。
会長	<p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 番目の効果的な市民サービスの提供は効率性に寄った書き方になっているため、有効性の内容に書き換える必要がある。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次に2 つ目の意見の優先順位について、事務局からあるか。
事務局	<p>(回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 委員がいうとおり、スクラップアンドビルドをしていく場合は、優先順位を

<p>委員</p>	<p>考えることになる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政として、優先順位を決めるときにどういう考え方で決めていくのかは、同じ基準に当てはめてできるかはわからないが、優先順位を決めるときの方を書いた方がいいと感じたので、検討する。 <p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政として目標を達成するには、まずは有効性がポイントになると思う。有効性を達しないままに、効率性を重視しすぎると一律コストカットという発想になってしまう。 ・書きぶりとしては、有効性を重視し、有効性があるの効率性になると思う。またそれが優先順位付けのルールにもなると思う。
<p>会長</p>	<p>(これまでの議論を踏まえての意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員が言われたように、1番目が有効性で2番目が効率性だとすると、3番目は、有効性と効率性を使って優先順位付け、もしくはスクラップアンドビルドをするという流れで書くのが流れ的にいいと考える。 ・そのために成果を見ていくということがないと、スクラップアンドビルドはできないと思う。 ・私はこの部分が重要だと思っているのは、行政が、目的にあわない事業をスクラップして、新しい事業を行うということを市民に見せるというのが重要だと思う。
<p>委員</p>	<p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今までの議論で、有効性、効率性、優先順位が落とし所かと思う。 ・この3つの視点が4つにつながる形で落とし込む必要があると考える。
<p>会長</p>	<p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・めざす姿については特に意見がないため、現在の内容でいきたいと思う。
<p>会長</p>	<p>< 3 IIIの2「行財政運営の生産性の向上」についてのイメージの共有 ></p> <p>議事録に残しておく意味も含め、行政における生産性について、どういうイメージか、共有できるように意見をお願いしたい。</p>

委員	<p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ここでいう生産性の向上というのは、同じコストでも成果が倍になるというイメージがわけばいいと思う。成果が倍になる、増えるというニュアンスが入った方がいいと思う。
会長	<p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通常、労働生産性は、労働投入分の付加価値という計算式で表される。 ・労働生産性の向上というのは、分子の付加価値が上がるパターンと、分母の労働投入が減るパターンの2つに分かれる。 ・行政における付加価値の測定は難しいから、事務局は悩んでいると思う。 ・今の委員の意見は、その付加価値というのは成果であるということ。 ・成果が分子にあって、分子が向上するというのも意味として込めた方がいいという意見だったと思う。私も同じ考え。
委員	<p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回の方針は、大きな考えを示すものなので、測定などそこまで細かく書くのではなく、優先順位などのよりどころとなる考え方を書くべきだと思う。
会長	<p>(質問)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政の悩みとしては、生産性はどうやって測定するのか、と思っている部分があるのではないか。どうか。
事務所	<p>(回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・付加価値をより高める、つまりは、生産性をあげていく、というような表現で記載していきたいと思う。 ・成果をより上げていく、ということを市民にもわかりやすく書いていきたい。
委員	<p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分母が労働、分子がサービスの位置づけかと思うが、分母は人口減少のため少なくなる傾向がある。一方で、分子はデジタル化や組織の再編成で付加価値の高い状況を作っていこうというキーワードは入れ込むと思う。 ・ここでは、2040年問題で、人口も職員も減り分母が小さくなる中で、どう分子を担保していくのか。 ・担保の要因として、デジタル化や組織の再編、官民連携のことが書かれているので、今の計算式の考えでいくなら、整理して書いた方がいい。

<p>会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生産性向上の例として、北海道旭川市、大阪府高槻市などがある。 ・例えば、業務にかかっている時間の把握するということもして分析しているところがあるので、参考にできるのではないか。 <p>(これまでの議論を踏まえての意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでをまとめると、当初は1番目が有効性で、2番目が効率性と言っていて、この切り分けで、労働生産性の話しをすると、2番目の効率性の部分では、分子は変わらず労働投入を減らすことで生産性を向上するというイメージだった。 ・議論では、分子の付加価値も上げていこうという意見もあったので、2番目には、その考えをいれた方がいいと考える。そうすると、2番目のところには、有効性かつ効率性の視点も必要になってくる。数式をいれるとわかりづらくなるので、考え方を書くべき。 ・生産性の測定は、個々の事業単位では可能なものもあるかもしれないが、マクロの視点では測定ができないと思う。 ・また、個々の事業単位でできる部分についてもできる事業とできない事業があることも理解しておく必要がある。 ・ただ、測定する意識をもって方針を作成することが重要である。このことは、議事録にも残しておくべきと考えるため、発言した。
<p>委員</p>	<p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業再検証の取り組みで感じたことだが、この仕事はこちらの部の仕事であるなど、セクション、部門の壁を感じた。 ・今回の修正で、この方針に外郭団体含めた部門やセクションを考え直す視点も加えてほしいと思う。
<p>会長</p>	<p>< 4 IVの成功要因という言葉と取り上げている4つのタイトルのバランス感 > 成功要因という言葉、4つの項目のタイトルの書きぶりについて、意見を お願いしたい。</p>
<p>委員</p>	<p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グリーンイノベーションがこの方針にあることに違和感がある。この方針に必要なのか。掲載したいなら、他の項目で書いた方がいいと思う。

委員	<p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成功要因とあるが、単語のタイトルも文章のタイトルも、何をどうしたら成功なのかが、今の表記ではわからないので、わかるように書く必要がある。
委員	<p>(質問)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Ⅳの章の1は人事関係、2はデジタル化、3は官民連携、4は公共施設の維持更新のためにグリーンイノベーションに取り組むと読めると思うが、このような認識でよいか。
事務局	<p>(回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Ⅳは、Ⅲの3つの取組みを進めるのに大事な要素を書いている。 ・1と3は委員の認識のとおり ・2の新しい技術は、デジタル化が代表的ではあるが、交通分野でいう自動運転など、様々な分野における新しい技術を取り入れて新たなサービスにつなげるというイメージを持っている。 ・4のグリーンイノベーションは、公共施設の老朽化対策をする時に太陽光発電を取り入れることなどもイメージしていたので、言い換えることも可能と考える。
委員	<p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今私が挙げたのは一例なので、これまでの議論で、Ⅲの3つの項目が、有効性、効率性、優先順位に変わることになるため、ⅣについてもこのⅢで出てくるキーワードと関連付けて、Ⅳの項目も事務局で考えてほしい。
委員	<p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表現の仕方については、他の委員も言うように「新しい技術をどうするのか」、がないと何が成功の要因になるのかがわからないため、そこは考えてほしい。 ・また、グリーンイノベーションが、ここに唐突に出てくるのに違和感がある。ここで記載されているのは、あくまで市の公共施設の観点など、市だけのことであり、市民や市内事業者を巻き込むような内容ではない。 ・そのためこのグリーンイノベーションが成功要因の4つ目として並列に書かれる必要はあるのか疑問に思う。
事務局	<p>(回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グリーンイノベーションは、Ⅳとして並列で並べるよりⅤの一例とすること

	<p>もできると思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今複数の委員から唐突感があるというご意見だったが、どうすべきかについて、もう少し議論をお願いしたい。
委員	<p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グリーンイノベーションは、社会的には必要なことであるが、この部分の事業としては、逆にお金をかけてやることもあるので、行財政改革とはあわないのではないか。
委員	<p>(質問)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グリーンイノベーションの話は他の個別計画に入っているのか。
事務局	<p>(回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の計画で、入れることも含めて検討している。
会長	<p>(これまでの議論を踏まえた意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この審議会の共通意見として、行財政経営を考えたときに、グリーンイノベーションが出てくることに違和感を感じている。 ・審議会としては、削除の方向でいいと考える。
事務局	<p>(回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時代の流れというところと、また、計画期間の中で公共施設の更新があることや国の大きな方針もあり、財源対策の一つにもつながると考えて入れた経緯がある。 ・国や世間的にも言われている項目であるので、審議会でも議論いただき良かった。 ・議論を踏まえると、考え方が必要ないという意見ではないと思うので、IVではなく別の章を検討したいと思う。
委員	<p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成功要因の表記は、川西には必要なこととは思うので「重要」ということのほうがいいのではないか。

会長	(質問) <ul style="list-style-type: none"> ・川西の政策体系の中で「戦略」を使っているか。 ・もし使っているなら、ここで「戦略」という言葉は使いにくいと思う。
事務局	(回答) <ul style="list-style-type: none"> ・いわゆる「総合戦略」として使用している。 ・施策の中で、重点的な事業としたものを総合戦略としている。
委員	(質問) <ul style="list-style-type: none"> ・この成功要因は、いわゆる経営戦略のキーファクターフォーサクセス、K F Sを日本語に置き換えたものか。
事務局	(回答) <ul style="list-style-type: none"> ・委員がいうように、市としても重要成功要因をイメージして選んだ言葉である。
委員	(意見) <ul style="list-style-type: none"> ・K F Sと書いているならまだ理解できるが、成功要因ではわからない。
会長	(これまでの議論を踏まえての意見) <ul style="list-style-type: none"> ・K F Sという表記は行政にはあわないと思うので、この方針で使うのは難しい。 ・市民向けにはわかりやすい言葉を使う必要があると思う。 ・課題解決のカギ、達成のカギ、達成手段などはどうか。
委員	(意見) <ul style="list-style-type: none"> ・私たちが大事に思っていることはこれだ、というのが伝わるのがいい。
委員	(意見) <ul style="list-style-type: none"> ・IVの1～4のタイトルが文章と単語が混ざっているところについては、何を実施していくのかがわかりにくい。 ・他の委員も言うように何をどうするのかを考えてほしい。

事務局	<p>(回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何をしていくのか、思いを込められる部分でもあるので、意見を踏まえて修正していく
委員	<p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織の観点ですが、有効性や効率性を考えるときに、例えば、同じような集金業務や駐車場業務であれば、組織を関係なく、JOB型のように一緒に取り組むなど、組織の見直しも必要と思うが、業務の運営方法を組織ありきで考えることの見直しが必要だと思う。 ・この方針の中で足りないと思う部分は、組織を超えても何が効率的かっていう、同じ業務をそれぞれの部署でやっていることがあるということと、効率性、生産性を高めるというので書かれているのが、権限移譲とデジタル化だけしかないので、そもそもの業務のやり方、業務フローを見直すという視点が必要だと思う。
会長	<p><その他の意見> その他に意見はないか。</p>
委員	<p>(質問)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・IVの1の職場づくりに関して、川西市の人事異動は平均として、どれくらいの頻度、スパンで行うのか。
事務局	<p>(回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今の方針では、特に若手は、短い期間で異動して多くの職場を経験させようという方針 ・ただ、短い期間の異動では成功体験をつめないという課題もあり、検討しているところ
委員	<p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人事異動の期間の見直し、再検討を、この方針に記載してもいいと思う。 ・今の時代、職員に専門性も求められるため、3年では組織の1/3がその仕事を初めてやっていることになり、組織としては未成熟の状態が続いてしまうことになってしまう。また、3年では業務のPDCAが回りきらない構造にもなる。 ・できれば、専門性を高める、自身の仕事のPDCAを回して成果を最大化す

事務局	<p>るという観点で、最低5年くらいは必要だと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の自治体でも同様の課題があるので、方針への記載を検討してほしい。 <p>(回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貴重な意見だと思うので、担当部とも検討していきたい。
委員	<p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施計画を毎年更新するとあるが、毎年と書くとやらなければならなくなり、時間と労力がかかり大変だと思うので、表現は考えてほしいと思う。 ・都市計画や福祉計画などの計画見直しと異なるなら、それがわかるように書いてほしいと思う。
事務局	<p>(回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員の言うとおり、毎年ローリングするのは非常に大変ではあるが、川西市では、中期財政運営プランとして、財政運営計画を毎年更新して、5年先までの収支を見ながら財政運営をコントロールしている。 ・この財政運営計画には、実施計画による新規拡充事業と、本方針によるスクラップアンドビルドによる見直しも含まれているため、毎年見直して最新の数値に置き換える作業は必要であると考えている。
委員	<p>(質問)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料2ですが、他の計画より次元的に上位にあるのであれば、そのように見せる資料にしてほしい。
事務局	<p>(回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・位置づけは並列だが、他の計画に影響を及ぼす計画でもあるため、性質的には上位にあるとも言える。委員の意見を踏まえ修正する。
委員	<p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクラップアンドビルドのところで、E C R S とあるが、これは一般的に流通している言葉なのか。 ・基本方針は作るのが目的ではなくて、考え方を理解して運用して行く必要があるため、使う人が理解できる言葉で作成した方がいいと思う。
事務局	<p>(回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・捉え方にばらつきがでないように、言い換えや注釈をつけて対応する。

委員	(意見) ・働き方改革や多様な働き方への配慮など、優秀な人材が川西に残っていくという視点が今書かれていないので、そこは必要と思うので入れてほしい。
会長	その他に意見はないか。意見がないようなので、本日はこれで終了とします。マイクを事務局へ返します。
事務局	4 その他 ・今後の審議会スケジュールについて説明 5 閉会